

講義科目 : 建築材料学	単位数 : 2
担当 : 山本 貴正	学習形態 : 選択科目
	建築士指定科目

講義の内容・方法および到達目標

- ・建築物に用いられている材料の種類、性質および用途を学習する。
- ・予習形式の課題を課し、授業で予習内容の確認、また演習問題を解く。
- ・到達目標は、建築物に用いられている材料の種類、性質および用途を理解することである。

授業計画

- 第1回 建築材料概説
- 第2回 建築材料の分類
- 第3回 建築材料の性能と性質
- 第4回 コンクリートI (種類と組成)
- 第5回 コンクリートII (製造方法)
- 第6回 コンクリートIII (力学的性質)
- 第7回 コンクリートIV (RC構造物の耐久性)
- 第8回 鉄鋼I (種類・製造方法)
- 第9回 鉄鋼II (力学的性質)
- 第10回 木材I (種類・加工方法)
- 第11回 木材II (力学的性質)
- 第12回 非構造材料I (熱)
- 第13回 非構造材料II (音響)
- 第14回 非構造材料III (金属系・セラミックス系材料)
- 第15回 非構造材料IV (高分子系材料・他)

教材・テキスト・参考文献等

教科書は特に指定しない。下記の書籍を参考書として用いる。
 谷川恭雄 他「建築材料を学ぶーその選択から施工までー」(理工図書)
 教材は、随時配付資料とする。

成績評価方法

課題(40点)、定期試験(60点)を行い、100点満点中60点以上を合格とする。

その他

勉強と作業を使い分けて、丸暗記ではなく理解を伴う暗記をすることが大切である。

受講するにあたり、建築材料は身近な存在であることを意識すること。